

## 平成30年度 第2回郡上市国民健康保険事業の運営に関する協議会議事要旨

- 1 開催日時 平成30年11月13日(火) 午後1時30分～午後3時20分
- 2 開催場所 郡上市役所八幡庁舎4階会議室
- 3 出席者  
(出席委員) 蒲智美、山下優子、杉下總吉、後藤忠雄、松田一雄、田島利明、尾村忠雄、清水正照、森藤文男、三島一貴、小川昌敏  
(欠席委員) 浅野勝、小林小百合  
(執行機関) 日置敏明市長  
(事務局) 丸茂紀子健康福祉部長、古川義幸保険年金課長、末松義人課長補佐
- 4 傍聴者 0人
- 5 議題
  - (1) 国民健康保険の情勢について
    - ①保険給付費の中間報告
    - ②平成30年度国民健康保険税収納状況
  - (2) 国民健康保険基金の積み立てについて
    - ・平成30年度国民健康保険特別会計の現状
  - (3) 平成30年度上半期医療費の動向について(報告)
  - (4) その他
    - ・平成29年度特定検診実施状況報告
- 7 議事内容
  - (1) 国民健康保険の情勢について
    - ①保険給付費の中間報告

4月から4ヶ月分の保険給付費を報告。被保険者(加入者)は前年度比95.2%に減少していることに対し、保険給付費は97.4%となっており、被保険者の減少ほどにはなっていないことから、1人当たりの医療費は増加していることが伺える。
    - ②平成30年度国民健康保険税収納状況

9月末現在の収納率は、現年分34.56%で前年度比1.97%、過年度分12.23%で前年度比1.31%向上している。
  - (2) 国民健康保険基金の積み立てについて
    - ・平成30年度国民健康保険特別会計の現状

前年度繰越金が、2億円の予算に対して5億227万5,490円となったが、平成29年度に国から交付された金額の内、貰いすぎた5,796万569円を返還しなければならない。

しかし、返還金を差し引いても3億円ほどの残額が出る見通しであるため、急激な医療費の高騰があった場合に対応できるよう、これまで取り崩しを続けてきた基金へある程度積み上げをしておくことに対して、委員からの意見を求めたが異論は出なかった。
  - (3) 平成30年度上半期医療費の動向について(報告)

- ・平成 30 年 3 月から 8 月までの医療費の動向

医療費の伸びは前年同月と対比して 97.8%となっており、県下では平均的な状況である。伸びが最高だった市町村は 121.4%となっており、比較的規模の小さい保険者において高い伸びが見られる。最低は 70.8%となっている。

- ・郡上市における医療費減少の要因について

被保険者数・受診件数・受診日数等は前年度と比べ下がっているが、1 人当たりの医療費は 102.7%と増加している。その結果、被保険者数の減少ほどは医療費が減少していない。

- ・被保険者数の状況について

被保険者を 10 歳ずつに区分し、加入人口を前年度と比較すると、1 歳から 69 歳までは 90%前後の減少が見られるが、70 歳以上は 111.1%と増加しており、平均で 95.4%となっている。

60 歳以上の加入割合が 6 割弱となっている。

- ・医科・歯科・調剤の状況について

歯科は受診件数で前年度比 101.2%、医療費で 102.5%と増加している。医科と調剤の受診件数は下がっているが、医科の入院以外の医療費は 100.9%と若干の増加が見られる。

- ・医療費の 3 要素の状況について

1 人当たりの医療費の 3 要素である、1 人当たりの受診率・1 件当たりの日数・1 日当たりの医療費のすべてにおいて増加している。

- ・金額階層別レセプト（診療報酬明細書）の状況

1 ヶ月当たりの医療費が 80 万円未満の件数は減っているが、それよりも高額な医療費の区分で前年度を上回っている。なかでも 80 万円以上 100 万円未満が 124.2%と増加が大きかった。400 万円以上の医療費が必要だった件数は前年度と同様の 6 件となっている。

#### (4) その他

- ・平成 29 年度特定検診実施状況報告

郡上市の特定検診の受診状況は、前年度の 57.5%に対して 57.1%と若干下がったものの、県下では昨年と同様の 3 番目に高い受診率となっている。